

学校安全・防災だより

【第11号】

令和4年10月28日（金）

保健体育安全課発行



「第2次みやぎ学校安全推進計画」を公表しました 各学校における学校安全の取組の参考に

令和4年3月に国が策定した「第3次学校安全の推進に関する計画」を踏まえ、本県の各学校等において、学校安全を推進していくための取組の参考となるよう、具体的な方策を示した「第2次みやぎ学校安全推進計画」を作成し、過日、公表しました。

各学校においては、計画に示す具体的な方策を参考に教職員間で共有いただくとともに、今後の学校安全の取組に組み入れいただくなど、児童生徒等の命を守る学校安全を一層推進願います。

【ホームページ掲載先】

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hotai/anzensuishinkeikaku.html>



みやぎ学校安全推進計画 (第2次)



児童生徒等の命を守る
地域と連携した学校安全の推進を目指して

令和4年10月
宮城県教育委員会

■ 第2次みやぎ学校安全推進計画の概要

I 本県における児童生徒等の安全を取り巻く現状と課題【計画P2～5参照】

1 学校安全に関するこれまでの主な取組

- (1) 本県では、東日本大震災の厳しい教訓を踏まえ、「みやぎ学校安全基本指針」などを作成し、学校における安全管理体制の強化に努めるとともに、児童生徒等の防災意識の向上にも努めてきた。
- (2) 交通安全及び生活安全では、通学・通園中の交通事故や犯罪被害を防止するための危険箇所点検や見守り活動、教育活動中の事故防止、訓練の実施等の課題に応じた対策が推進されてきた。
- (3) 令和元年10月の石巻市立大川小学校事故判決での教育委員会や学校に対する事前防災の重要性等の指摘を受け、県教育委員会が設置した「宮城県学校防災体制在り方検討会議」の提言を踏まえ、令和3年4月に「みやぎ学校安全基本指針（追補版）」を作成し、学校防災相談窓口の設置や防災の専門家の派遣等、学校防災体制の充実に取り組んできた。

2 第2次みやぎ学校安全推進計画作成に向けた主な課題

【災害安全】

- (1) 教育委員会や学校における全ての教職員は、児童生徒等の命を守るという強い覚悟と、地域等と連携した学校防災体制の充実が求められている。
- (2) 県が最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域と水深を公表。
- (3) 平成27年9月の関東・東北豪雨、令和元年10月の東日本台風など多くの被害が発生。

【交通安全】

- (1) 県内の子供の交通事故（小・中・高校生が死傷した交通事故）は減少傾向にあるが、令和3年中の死者は2人、負傷者は363人。
- (2) 令和3年中の子供の交通事故は、自転車乗車中の事故が167人と最も多く、死者が1人。
- (3) 県内の小学校の通学路について、対策必要箇所は1,378箇所（仙台市除く）。

【生活安全】

- (1) 令和3年4月に白石市内の小中学校で、防球ネットが折損し、児童2名が死傷する事故が発生。
- (2) 県内の令和3年中の「子供と女性に対する声かけ事案等」の被害は1,713件。
- (3) 県内のこども園に不審者が侵入した事件や、登校中の児童生徒への傷害事件が発生。

【共通課題】

- (1) 震災の発生から時間が経過することで、記憶が風化し、教育活動全般における学校安全の取組に関して、優先順位の低下が危惧される。

※裏面に続く

II 本県における今後の学校安全の推進の方向性【計画P6～7参照】

目指す姿

- (1) 学校と地域が連携して、いかなる災害や様々な危険からも、児童生徒等の命を確実に守り、事故を未然に防ぐ学校安全体制の構築を目指す。
- (2) 全ての児童生徒等が、いかなる災害や様々な危険からも、自らの命を守り、他者を助ける力を身に付けることを目指す。

III 学校安全を推進するための具体的な方策【計画P8～29参照】

※計画で示す各方策では、県教育委員会、市町村教育委員会、学校それぞれが取り組むべき内容を明記しています。

以下には、計画に示す方策の主なものを記載しました。

1 学校安全に関する組織的取組の推進

- 学校経営における学校安全の明確な位置付け
- 学校安全計画に基づく実践的な取組内容の充実
- 危機管理マニュアルに基づく取組内容の充実
 - 危機管理マニュアルや避難訓練を、地域や関係機関等との連携により見直しを実施
- 学校における人的体制の整備
 - 安全担当主幹教諭及び防災主任を中心とした取組の推進
- 学校安全に関する校長・教職員の研修及び訓練の充実
 - 経験年数に応じた教職員等の研修における学校安全に係る研修内容の位置付け

2 家庭、地域、関係機関等との連携・協働による学校安全の推進

- 家庭、地域との連携・協働の推進
 - セーフティプロモーションスクール等のしくみを生かした持続可能な連携体制の構築
 - 通学時の見守り体制の強化
- 関係機関との連携による安全対策の推進
 - 原子力災害への対応訓練の実施
 - 地域住民と連携・協働した避難訓練や避難所開設訓練の実施

3 学校における安全管理の取組の充実

- 学校における安全点検
 - 教職員の安全点検講習会の継続
 - 技術職員が在籍する部局との連携や民間委託等による安全点検の実施
- 施設・設備の安全性の確保のための整備
 - 非構造部材の耐震対策の推進
- 重大事故の予防のためのヒヤリハット事例の活用
 - 学校事故防止に係る研修事例集の作成と研修会の実施
- 学校管理下において発生した事故等の検証と再発防止等

4 学校における安全に関する教育の充実

- 安全教育に係る時間の確保
 - 各教科等における防災副読本等を活用した、系統的・体系的な安全教育の実施
- 地域の災害リスクを踏まえた実践的な防災教育の充実
 - 想定される災害や危機事象から、安全を確保するため実践的な避難訓練の実施
- 学校における教育手法の改善
- 現代的な諸課題への対応

5 東日本大震災等の教訓の継承

- 震災の教訓を風化させない校内研修の充実
- 「みやぎ防災ジュニアリーダー」の養成継続
- 被災地訪問等を取り入れた防災教育の支援
- 被災後の学校再開に向けた研修会の実施